

【重要文化財 新指定の部】

① 東北地方における商家建築の発展の様相を示す建物群（近代／住居）

旧大沼家住宅

10棟

店、本宅、前座敷、内蔵、新蔵、西藏、
穀蔵、塩蔵、作業場、表門、土地

所在地：宮城県柴田郡村田町

所有者：村田町

旧大沼家住宅は宮城県南部の村田町村田伝統的建造物群保存地区内に所在する。近世に紅花商、近代には味噌や醤油の製造販売等で財をなした大沼家の店舗及び住宅である。

敷地前面に重厚な意匠の店（明治7年建築）と表門（同32年）を並べる豪壮な表構え、格調ある店の内部構成、店の背後に建つ本宅（大正5年建築）の形式などに、近代に発達した当地区の商家建築の特徴をよく示す。また敷地奥に土蔵群を一行に並べ、その向かい側に前座敷などを配する建物配置は、当地区の最上層商家の特徴を備えている。近世以来の屋敷構えの変遷も概ね明らかで、東北地方における大規模商家建築の発展の様相を理解するうえで高い価値を有している。

○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの



② 上質な和風意匠で統一された明治期の大型迎賓施設（近代／文化）

臨江閣

3棟

本館、別館、茶室

所在地：群馬県前橋市

所有者：前橋市

臨江閣は、旧前橋城の一角の景勝地に所在する。本館と茶室は明治17年に賓客の接待施設として、別館は同43年に連合共進会の貴賓館として建てられ、いずれも内外ともに簡明な和風の意匠でまとめられている。本館内部は、上下階と奥座敷部の各所に座敷を設け、能舞台の設えをもち、庭に茶室を併設するなど、明治前期における貴顕接待施設の様相を示す。別館は大規模な2階建てで、内部は、大人数や多目的での利用を想定して座敷、洋間、180畳の大広間を設け、大空間を実現するために床組を鋼材で補強するなど、近代的な構造手法を併用する。資料等により建設背景も明らかで、明治期の地方における迎賓施設の展開を理解する上で高い価値を有している。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの



③ 多様な和風意匠と伝統技術を集成した実業家の邸宅（近代／住居）

旧遠山家住宅 9 棟

東棟、中棟、西棟、土蔵、茶室、寄付待合、
長屋門、庭門及び内堀、裏門及び外堀、土地

所在地：埼玉県比企郡川島町

所有者：公益財団法人 遠山記念館

旧遠山家住宅は、埼玉県中部の田園地帯に所在する。日興証券創立者の遠山元一が郷里に建てた邸宅で、昭和 11 年までに住居部分が竣工し、その後、茶室などが整備された。

東棟は茅葺の大型建築で、豪農であった生家の風情を受け継ぎつつ豪壮で格調高い形式と意匠をもつ。2 階建の中棟は、1 階に端正な意匠の接客用座敷、2 階に洋風の応接室や寝室等を設ける。西棟は隠居所で、数寄屋を基調とした瀟洒な座敷や仏間などからなる。いずれも多様で吟味された良材が使用されており、卓越した建築技術を駆使して建築された、極めて質の高い近代和風建築として価値が高い。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



④ 重厚な表構えと繊細優美な室内意匠をもつ酒造家の住宅（近代／住居）

旧平澤家住宅（松籟閣） 1 棟

所在地：新潟県長岡市

所有者：朝日酒造株式会社

旧平澤家住宅は、越後平野南西部に所在する酒造家の住宅で、昭和 9 年に完成した。

住宅は、正面中央に入母屋造の正玄関をはじめとする様々な形式の屋根を重層させた主体部を構え、向かって左側に和風意匠の御母堂室部、右側に洋風の応接室部を並び建て、重厚かつ変化に富んだ外観をもつ。内部では座敷などの室内造作に多彩な銘木をふんだんに使い、各所を繊細な意匠の組子や彫刻欄間、蒔絵などで飾るとともに、洋風寝室をアール・デコで瀟洒にまとめるなど、近代住宅の潮流を巧みに取り入れつつ優れた造形美を表出している。近代新潟の主要産業である酒造業の創業家による昭和初期の優れた住宅建築として高い価値を有している。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの



撮影 田村収

⑤ 近代佐渡における町家の発展を示す規模雄大な住宅（近代／住居）

まつばえ け じゅうたく
松榮家住宅 3棟

おも や ぐら しんくら
主屋、オモ蔵、新蔵

所在地：新潟県佐渡市

所有者：個人

松榮家住宅は佐渡市西部の海岸近くに所在する、鉱山や廻船で繁栄した相川を代表する豪商の住宅である。

主屋と、後方に並ぶオモ蔵、新蔵は明治44年に上棟され、2棟の蔵は大きな竝で一体的に覆われている。主屋の平面構成は佐渡の町家の基本形式にならいながら、重厚な軸部やオエと土間の広壮な吹抜など、雄大な内部空間を実現している。また座敷や仏間を主体部から独立させて拡充しつつ、各室を瀟洒な意匠で整えるなど、近代的な拡張、発展の様相を良好に示している。平面計画や優れた空間構成に、近代佐渡における町家建築の発展形態を示す、雄大かつ上質な住宅として、高い価値が認められる。

○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの



⑥ 女優川上貞奴が営んだ自由で豪奢な意匠の別邸建築（近代／住居）

かわかみ け べってい
旧川上家別邸 3棟

おも や ちゃしつ おもてもん
主屋、茶室、表門

所在地：岐阜県各務原市

所有者：個人

旧川上家別邸は、女優として活躍した川上貞奴の別邸として昭和8年に建築された。木曽川の雄大な景勝を望む広大な敷地に主屋を建て、庭園内に茶室を配し、北西側の苑路に表門を構える。



主屋は南寄りに玄関・広間部を建て、東側に仏間・客間部と田舎家部、西側に台所部を配し、全体としてV字形の平面を呈する。貞奴の滞在時の私的空間と多彩な接遇施設を併せ持ち、各室を雁行させた平面計画により採光や通風、眺望確保に配慮するとともに、自由な着想により数寄屋、中国趣味、農家風などと趣向の異なる意匠を大胆に使い分け、変化に富んだ外観と豪奢な室内空間を創出している。様々な伝統技法や工芸技術を駆使してまとめた、意匠優秀な別邸建築として価値が高い。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの

⑦ 湖北地方において最大級規模の近世農家建築（近世以前／民家）

なかむら け じゅうたく (ながはま し や ぎ はまちょう)
中村家住宅（滋賀県長浜市八木浜町） 4 棟

おも や どぞう うま や おもてもん
主屋、土蔵、馬屋、表門、土地

所在地：滋賀県長浜市

所有者：個人

中村家住宅は、琵琶湖北東岸の八木浜集落に所在する。近世に代官などを務めた上層農家の住宅で、外周の一部に堀をとどめる広大な敷地の北寄りに主屋を構え、周囲に表門や土蔵などを建てる。

主屋は 18 世紀中期の建築とみられ、入母屋造、茅葺の主体部の周囲に下屋などを設ける大規模な農家建築である。広い土間と、ニウジと呼ばれる居室の上部に梁を十字形に架けて一体的空間をつくる、当地に広く分布する余呉型と呼ばれる民家形式の特徴をもつ。

中村家住宅の主屋は建築年代が概ね明らかで、余呉型民家として最大級の規模と典型的な軸部構成をもちつつ、土間の拡張や堅固な扱首構造に、家格に応じた特色を備えている。また表門などの附属建物を含め、近世以来の屋敷構えも良好に保持しており価値が高い。
○指定基準＝流派的又は地方的特色において顕著なもの



⑧ 地方的特色と独創性を備えた意匠華やかな大型本殿（近世以前／神社）

たかくら じん じゃ ほん でん
高座神社本殿 1 棟

所在地：兵庫県丹波市

所有者：宗教法人 高座神社

高座神社は丹波市南部の山裾に鎮座する神社で、本殿は宝永2年(1705)に地元の大工によって建立された。身舎の桁行を正面五間とする流造形式で、中央に入母屋造、軒唐破風付の向拝を付け、さらに屋根の左右に千鳥破風を飾る。全体に建ちが高く、独創的な屋根形式をも

つほか、組物を三手先とし、要所に彫刻を配して彩色を施し、妻飾は墓股を据えた装飾性豊かな二重虹梁大瓶束とするなど、細部意匠にも技巧を凝らす。

高座神社本殿は丹波地方の近世神社本殿の中で最大級の規模を有し、全体的に上質かつ華やかで、向拝の形式や、彫刻等の彩色技法などに当地方の社殿の建築的特徴が認められる。顕著な地方的特色と意匠的独創性を備えた神社本殿として価値が高い。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、流派的又は地方的特色において顕著なもの



⑨ 紀伊徳川家が造営した絢爛豪華な霊廟建築（近世以前／寺院）

阿弥陀寺本堂（旧紀伊藩台徳院霊屋） 1 棟

所在地：和歌山県和歌山市

所有者：宗教法人 阿弥陀寺

阿弥陀寺は和歌山市街東方に所在する浄土宗寺院で、本堂は紀伊藩が和歌山城下の大智寺に寛永10年(1633)に造営した2代将軍徳川秀忠の霊屋を、明治4年に移築したものである。

本堂は、桁行五間、梁間五間の規模で、内部は中央の三間四方を内陣として、その中央後寄りに須弥壇を置き、周囲の外陣では海老虹梁を架けて柱同士をつなぐ。外観、内部ともに禅宗様を採用しつつ、各所に繊細かつ秀逸な彫刻を配し、建物全体に極彩色を施すなど、多様な装飾技術により華やかに荘厳をはかっている。徳川将軍を祀る廟所にふさわしい優れた意匠の霊廟建築として、高い価値を有している。

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの



【重要文化財 追加指定の部】

① 碓氷峠越えの急勾配区間を克服した鉄道施設群（近代／産業・交通・土木）

旧碓氷峠鉄道施設 2基, 1所, 1棟

第七橋梁, 第十三橋梁, 第十七隧道,
熊ノ平変電所本屋

所在地：群馬県安中市

所有者：安中市

旧碓氷峠鉄道施設は、群馬県の横川と長野県の軽井沢を結ぶ碓氷峠越えの鉄道施設で、急勾配に対応するためドイツの山岳鉄道で用いられていた

アプト式が採用されて明治26年に開通した。橋梁5基、隧道10所などが既に重要文化財に指定されており、その西方に所在する橋梁などを追加指定するものである。第七橋梁は煉瓦造単アーチ橋で、アーチに焼過煉瓦が使われている。第十三橋梁は煉瓦造、5連アーチ橋で、施設内で最多径間数を誇る。第十七隧道は煉瓦造で、出口坑門に石積を用いるなど意匠的特徴がある。熊ノ平変電所の本屋は昭和12年に建てられた鉄筋コンクリート造2階建で、平面構成や簡明な意匠などに、鉄道用変電所の発展過程を示す。これらの、既指定施設と一体的な価値を有し、鉄道技術の発展を示す橋梁や隧道等を追加指定し、総合的な保存を図る。

○指定基準＝技術的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの



撮影 小野吉彦

〈個別解説凡例〉

番号 特 徴 （年代区分／種類別）

名 称 員 数

複数棟指定の場合の建造物の名称、土地* 等

所 在 地

所 有 者

（* 建造物と一体をなして価値を形成している土地をあわせて指定するもの。）

〈重要文化財の指定件数〉

平成 30 年 5 月答申

（国 宝）

	種 類 別	現在指定数		新規指定		合計	
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数
近世以前の分類	神 社	40	75			40	75
	寺 院	157	165			157	165
	城 郭	9	17			9	17
	住 宅	14	20			14	20
	民 家	0	0			0	0
	そ の 他	3	3			3	3
	小 計	223	280	0	0	223	280
近代の分類	宗 教	0	0			0	0
	住 居	1	1			1	1
	学 校	0	0			0	0
	文 化 施 設	0	0			0	0
	官 公 庁 舎	0	0			0	0
	商 業 ・ 業 務	0	0			0	0
	産業・交通・土木	1	3			1	3
	そ の 他	0	0			0	0
	小 計	2	4	0	0	2	4
合 計		225	284	0	0	225	284

（重要文化財）

	種 類 別	現在指定数		新規指定		追加指定		合計	
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数
近世以前の分類	神 社	575	1,234	1	1			576	1,235
	寺 院	860	1,224	1	1			861	1,225
	城 郭	53	235					53	235
	住 宅	97	155					97	155
	民 家	353	867	1	4			354	871
	そ の 他	194	263					194	263
	小 計	2,132	3,978	3	6	0	0	2,135	3,984
近代の分類	宗 教	29	44					29	44
	住 居	101	392	5	26			106	418
	学 校	43	82					43	82
	文 化 施 設	38	74	1	3			39	77
	官 公 庁 舎	31	60					31	60
	商 業 ・ 業 務	23	30					23	30
	産業・交通・土木	78	282			(1)	4	78	286
	そ の 他	5	17					5	17
	小 計	348	981	6	29	(1)	4	354	1,014
合 計		2,480	4,959	9	35	(1)	4	2,489	4,998